

23 ミナミテナガエビ

(テナガエビ科)

兵庫県ランク:C

Macrobrachium formosense

環境省ランク:指定なし

種の概要

関東以西に広く分布し、主に太平洋・日本海西部の流入河川に生息する。体長100mmほどになり、成長した雄のハサミ脚は体長よりも長く、外観はテナガエビに酷似することで混同されることも少なくないが、鉗部根元の内側に数本の歯状突起があること、剛毛がほとんどないこと、頭胸甲の側面の縞模様がより明瞭であることで、テナガエビと区別できる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
							○

県内分布

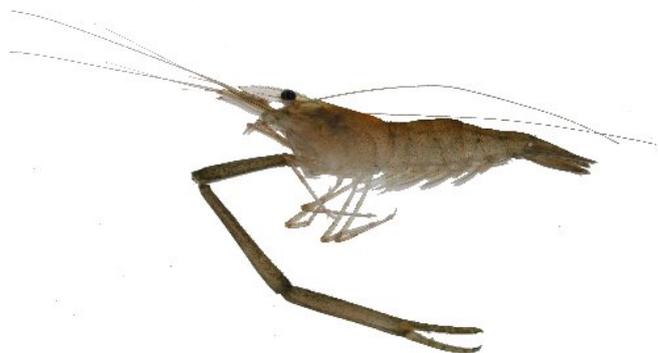
加古川市、姫路市、赤穂市、豊岡市、新温泉町、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。黒潮の影響の強い淡路島東岸の河川で記録が多いが、日本海側の流入河川や瀬戸内海流入河川での記録は多くなく、回遊性であることも起因して潮流による遇来分布の場合もあると考えられる。県内分布は近似種のテナガエビと重複するが、本種は汽水域や下流域のほとんど発達しない比較的小さな川で確認される傾向にあるが、瀬戸内海流入河川では中大河川で少数ながら確認されている。

保護上の留意点

両側回遊性であるため、河口堰やダムなどの河川横断構造物の設置により、稚エビの遡上が阻害されないよう注意が必要である。また、小河川での生息が多いが、安易に全面コンクリート護岸が施されることで、生息場所の消失や水量の不安定さを招くので、本来の小河川の環境を維持すること。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修